

令和6年度 福岡市中学校新人柔道大会要項

- 1 大会名 令和6年度 福岡市中学校新人体育大会
第41回男子福岡市中学校新人柔道大会
第41回女子福岡市中学校新人柔道大会
- 2 主催 福岡市中学校体育連盟・福岡市教育委員会
- 3 期 日 令和6年10月27日(日)
- | | |
|--------------|-----------------------|
| 開 場 | 8:00~ |
| 団体戦体重測定・選手受付 | 8:05~8:35 |
| 保護者入場 | 8:10~ ※多少前後する場合があります。 |
| 審判・監督会議 | 8:55~9:05 |
| 開 会 式 | 9:10 |
| 競 技 開 始 | 9:20 |
- (女子予選R→男子予選R→女子決勝T→男子決勝T)※女子予選Rがない場合、男子予選Rから実施する。
- | | |
|-------|-----------|
| 閉 会 式 | 14:30(予定) |
|-------|-----------|
- 4 会 場 福岡市総合体育館 武道場
〒810-0052 福岡市東区照葉6丁目1番1号 TEL:092-410-0314
- 5 参加資格 (1) 中学校における参加選手は福岡市中学校体育連盟加盟校に在籍し、学校教育法に基づく当該中学校生徒で、当該学校長が認めたものであること。
(2) 地域クラブ活動における参加選手は福岡県下の中学校に在籍し、学校教育法に基づく当該中学校生徒で、福岡県中学校体育連盟に参加認定されたものであること。
(3) 選手は、定期健康診断等で異常が認められず、相当量の練習を積み、当該学校長が適当と認めた者でなければならない。
- 6 参加制限 (1) 男女ともに団体戦のみとし、チームは1校単位で編成する。
(2) 男子チームの編成は、監督(校長・教職員)1名、選手7名以内とする。
女子チームの編成は、監督(校長・教職員)1名、選手4名以内とする。
- 7 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定「少年大会特別規定」(2024年4月1日より施行)及び本大会の申し合わせ事項による。
(2) 勝敗の判定基準は、団体戦においては「一本」「技有」または「僅差(指導の差2以上)」とする。
(3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
(4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。{「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」}
(5) 試合時間は3分間とし、延長戦は無制限とする。

- (6) 競技規則に問題が起こった場合は、専門委員会で協議する。
- (7) チーム編成(オーダー)は、体重順とし一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。また選手6・7(選手4)を入れる場合も同じ(体重が同じ時は新たに入るものが先鋒に近い方とする)。
- ① 試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。
 - ② 毎試合でのオーダーの変更は認めない。
 - ③ 一度退いた選手の再出場は認めない。
 - ④ 申込みをしている選手が事故等のため変更するときは、大会開始前までにこれを認める(変更届をチーム代表者名で提出すること)。
※ 変更の手続きとして、すでに登録してある選手6・7(選手4)からの補充を優先に行い、新たに補充する選手が、選手6・7(選手4)に再登録をする。但し、最初から選手6・7(選手4)の登録をしていない場合は、その限りではない。
 - ⑤ 欠員が生じた場合は、先鋒の方から空きとする。
- (8) 柔道衣の色は白色とし、帯は黒帯のみとし、女子の白線入りの帯は認めない。
- (9) 柔道着にゼッケンを着用して試合をする(チーム名・名字入り)。
- ① 布地は白色とし、サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
 - ② 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - ③ 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。文字色は、男子が黒色、女子は濃い赤色とする。
 - ④ 襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。
- (11) 団体戦出場選手は、指定された時間帯に体重測定を必ず行うこと。計測を受けなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。
- (12) 柔道衣コントロールは、従来通りの方法で実施する。
※ 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道着規格に合格した(上衣・下穿き・帯)を着用すること(新規格の赤色のマーキングのもの)。
- (13) 胸マーキング等について、チーム名等も可とする。柔道衣のゼッケンと胸マーキング等は統一とする。

- 8 競技方法
- (1) 団体戦は、各パートでリーグ戦を行い、各パート2チームが勝ち上がり、その後トーナメント戦により順位を決定する。
※ 出場チームの数によってはこの限りではない。
- (2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
- ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - ⑤ ④で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を

選出する。

(3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。

① 3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。

※ 原則4チームでのリーグ戦とするが、出場チーム数によってはリーグ戦の勝敗数が変更となる。

② ①で同等場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多いチームを上位とする。

③ ②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを上位とする。

④ ③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多いチームを上位とする。

⑤ ④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多いチームを上位とする。

⑥ ⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。

⑦ ⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ないチームを上位とする。

⑧ ⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ないチームを上位とする。

⑨ ⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ないチームを上位とする。

⑩ ⑨で同等の場合は、代表戦(1名)により順位決定戦を行う。

9 外部指導者(コーチ)のベンチ入りについて

(1) 中学校における引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合「大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者(コーチ)に引率及び監督の資格を認める。

(2) 地域クラブ活動における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。

(3) コーチのベンチ入りは男女問わず1チーム1名とし、ベンチ入り希望者は大会出場申込用紙に氏名を明記の上、チーム1名のみ申請を行う。また、大会当日は本人に限る。

(4) 令和6年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続きを行い、すでに登録が完了している者とする。

(5) 服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守り、良識ある態度で生徒の指導にあたる。

(6) 監督会議への参加は認める。監督会議での申し合わせ事項等は、連絡を密にとり内容の周知徹底を各学校の責任において図る。

10 審判員 原則としては、審判ライセンスを有した者があたる。

11 申し込み 申込書は、福岡市中体連ホームページよりダウンロードし、10月16日(水)までに福岡市柔道専門部長まで提出すること。

提出先:福岡市早良区田村4丁目25番1号 ㊦ 田隈中学校 進藤 竜二 宛

※ 10月23日(水)15時30分から福岡市立福岡中学校にて専門委員会を開き、市大会の組み合わせ及び準備等を行う。福岡市東区馬出3丁目11番1号

- 12 その他 (1) 大会出場選手の服装・身なりについての指導を行い、状況によっては大会参加を認めないこともある(福岡県中学校総合体育大会・生徒の健全育成のための確認事項一部抜粋)。
- (2) 本大会の男女団体戦上位5チームは県大会への参加義務を負う。
 ※1 団体戦で県大会出場資格を得たチーム(3位~5位)は、県大会出場順位決定戦を行う。
 ※2 県大会出場申し込みは、福岡県中体連ホームページよりダウンロードをおこない、福岡県新人柔道大会要項に記載されている期日を厳守すること。
- (3) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお、至急専門医の精査を受けること)。
 ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 監督・コーチの服装は、審判員に準ずる。
 (5) AEDは、会場内ロビーに設置している。
 (6) Jアラート警報時は試合を一時中断し安全を確保する。警報が解除され次第再開する。
 (7) 救護を本部横に設置している。

13 連絡 団体出場チームは、大会当日メンバー表を持参すること(模造紙縦置き縦1/4)。

【メンバー表】

模造紙1/4→

先	次	中	副	大	チ ム 名
○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	

※女子は、次鋒・副将を空欄とする。